

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員 ) 殿

福岡県病虫害防除所長

技術情報第4号

いもち病の発生について

県内の中山間地や平坦地の一部において、葉いもちの発生が多く、今後の天候次第では、穂いもちの発生が懸念されます。ほ場での発生状況を確認して、防除を徹底してください。

- 1 作物名 水稻
- 2 病虫害名 葉いもち・穂いもち
- 3 発生地域 中山間地、県北部を中心とした一部平坦地
- 4 発生状況

(1) 8月2半旬調査の結果、発生株率及び発生ほ場率は平年より高く、発生株率100%の多発ほ場も一部にみられた。

地域やほ場による差が大きく、中山間地や県北部の一部平坦地などで多発している。

発生株率 28.4% (平年 7.7% 前年 8.5%)

発生ほ場率 56.3% (平年 27.3% 前年 35.4%)

(2) 福岡管区气象台が8月5日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報によると、気温は平年より高く、降水量・日照時間は平年並、となっているが、これまで本病発生の好条件が続いた地域では、今後の天候次第では、穂いもちの発生が予想される。

5 防除上注意すべき事項

(1) ほ場により発生状況が異なるため、葉いもちの発生状況を確認する。

穂いもちは、発生後の防除が困難であるため、葉いもちの発生が多い場合は、予防的に出穂期直前と穂揃期の2回防除を徹底する。

(2) 気温が25℃前後と低く、葉の湿潤状態が継続する場合は防除回数を増加する。降雨が続き、地上散布が困難な場合は早めに粒剤の施用を行う。

(3) 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を順守する。

(4) 今後の発生状況については、防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。



